

## 平成25年度 第1回新潟市子ども・子育て会議放課後児童クラブ検討部会 概要

日時：平成25年度10月4日（金）

場所：新潟市役所第1分館 1-101 会議室

議事内容	<p>(1) 放課後児童クラブの現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市における放課後児童クラブの現状を報告。</li> </ul> <p>(2) 新潟市放課後児童クラブのあり方懇談会内容報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年1月より3回開催された「新潟市放課後児童クラブのあり方懇談会」の内容を報告。</li> </ul> <p>(3) 国の専門委員会の検討内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障審議会児童部会「放課後児童クラブの基準に関する専門委員会」の第4回までの検討内容について報告。</li> </ul>
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわりクラブは地域と一体化していないように感じる。地域とつながる仕組みを考えていかなければならない。</li> <li>・指導員が業務指針に窮屈に縛られ、地域とのかかわりを、ある意味意識的に制限してはいないか、次回内部資料を参考資料として確認したい。</li> <li>・地域のすべての子どもたちを対象にするような事業（ふれあいスクール）と連携の動きがあるのか、現状を確認したい。</li> <li>・子どもと保護者の家庭での関係が、愛情でしっかりと結ばれたうえで、地域や学校での生活が成り立つ。要望があるからといって、ひまわりクラブの安易な時間延長にならないよう、慎重に検討しなければならない。</li> <li>・学校と放課後児童クラブのあり方、連携を考えていかなければならない。</li> <li>・高学年受け入れに際し、施設に子どもを合わせるのか、子どもの数に施設を合わせるのかで議論が変わってくる。</li> <li>・高学年の受け入れには指導員の量と質が必要となる。資格を問わない臨時職員でも研修を行うなど質を高める必要がある。</li> <li>・地域の子どもは地域で育てるといような、地域も真剣になって子どもたちの放課後のことを考えてあげなければいけない時代になってきている。</li> <li>・発達障がいの子どもの対応もふまえ、地域と学校とひまわりクラブとという連携をより一層強める手立てを考えていきたい。</li> <li>・子どもたちの心の発達が気になる。家庭の時間や地域と触れ合う時間や、異学年といる時間、たくさんの経験が今度は生きていく力になる時期でもある。大事な小学生の時期なので、ハード面も大事だが、心のソフト面もいい状況に、環境になっていけるような工夫をすところまで考えていきたい。</li> <li>・学校の先生方はオーバーワークとなっている。スタッフが疲弊しないような仕組みも整えていく必要がある。</li> <li>・高学年が一緒になると怖いと感じる保護者もいる。</li> <li>・異年齢の交流が子どもたちにとって、いい影響があることもある。</li> <li>・子どもたちが放課後の環境条件の中でいかに育っていくかに焦点を当て、子どもの育ちをどのように図っていくかという観点で、新潟市の放課後児童クラブの条例に定める基準を今後議論していきたい。</li> </ul>